

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	健康相談事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	心身の健康に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、家庭等における健康管理に役立て、個人の健康保持増進を図ることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	原則として40歳以上65歳未満の市民	対象とした数	116,953	人
		実際に 利用した数	3,037	人

活動の内容	(何を したか)	①保健センター健康相談・・保健師・栄養士・歯科衛生士が、毎週火・水・木曜日及び第2・4月曜日の午前中に予約制の個別相談を実施する。 ②出張健康相談・・・・・保健師・栄養士・歯科衛生士が、地区公民館等を会場に健康相談を実施する(予約不要) ③総合相談・その他の健康相談・・・・・保健師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士が開庁時に、常時、電話、面接により総合相談を実施する。また、各種事業実施時において健康相談を実施する。							
	活動実績	項目名	保健センター健康 相談	171	項目名	出張健康相談	989	項目名	総合相談及びその 他の健康相談
			----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,501	3,789	61,938	182.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	相談実施回数	相談延べ回数	950	785	82.6
			----- 単位 回	----- 単位 回	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040900	TEL	2991-1811		
事業コード	健康相談事業							
040908	健康相談事業							
開始年度		昭和	58	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画、健康日本21所沢市計画			老人保健法				
	関連・類似事業	健康教育事業							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱	(3) 生活習慣病予防事業の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	老人保健法の施行(昭和57年8月)に伴い、昭和58年度から実施。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に) 心身の健康に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、家庭等における健康管理に役立て、個人の健康保持増進を図ることを目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	原則として40歳以上65歳未満の市民					健康相談事業を利用した市民の延べ人数				
	対象数	単位	平成 18 年度	116,986	人	利用数	単位	平成 18 年度	3,019	人
			平成 19 年度	116,953	人			平成 19 年度	3,037	人
事業の具体的な内容及び実施方法										
①保健センター健康相談・・・保健師・栄養士・歯科衛生士が、毎週火・水・木曜日及び第2・4月曜日の午前中に予約制の個別相談を実施する。 ②出張健康相談・・・保健師・栄養士・歯科衛生士が、地区公民館等を会場に健康相談を実施する(予約不要) ③総合相談・その他の健康相談・・・保健師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士が開庁時に、常時、電話、面接により総合相談を実施する。また、各種事業実施時において健康相談を実施する。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点 ① 地区回覧等により、健康相談事業の周知に努めた。 ② 出張健康相談の実施会場を2ヶ所創設した。									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		4,659	4,501	4,677
	決算(見込み含む)		3,785	3,789	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(1.05 人)	(人)	(1.05 人)
	正規職員人件費	7.43 人	68,356	6.19 人	58,149
	公債費				
	事業費合計		72,141	61,938	
	財源内訳	一般財源	70,745	60,846	4,677
		国・県支出金	1,396	1,092	
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	213.5	182.7		
	利用数一単位あたり(単位:円)	23,895.7	20,394.4		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	保健センター健康相談	延べ相談者数	人	191	171		
		出張健康相談	延べ相談者数	人	614	989		
		総合相談及びその他の健康相談	延べ相談者数	人	2,214	1,877		
	成果分析	相談実施回数	相談延べ回数	回	目標値 950	950	950	
			%	実績 740	785		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率 77.9	82.6		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	健康相談事業は、市民ニーズが高く、その内容も多種多様化している反面、若い年代層の相談が少ない状況にある。また、保健・福祉・医療を取り巻く環境や情報は、日々変化することから、常に最新情報の入手に努め、職員間で共有し、市民の相談に適切に対応できる体制づくりが必要である。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	多種多様な相談に対応できるよう、相談の機会の充実を図る	年間を通した円滑な実施を図る。	平成21年3月末	
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	心身の健康に関する相談内容は多種・多様であり、市民が気軽に相談できる場として、その整備・充実が極めて重要である。また、当該事業は、保健相談をはじめ、福祉サービスに関する情報提供や医療に関する相談等にも応じられることから、今後も引き続き、市民に身近な相談先として活用してもらえよう、相談機会の充実にも努め、市民の健康づくりにつながるような事業を推進することが必要である。			
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	成人保健課長	細江 松子	

⑨個別計画における方向性	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
年度内事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業				
	評価日	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				

⑩環境基本計画	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	施策の体系					
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					